

|                                     |                                 |  |   |
|-------------------------------------|---------------------------------|--|---|
| 取組の名称                               |                                 | CSAをベースとした農薬や化学肥料を使用しない野菜づくり   |   |
| 活動主体（団体名）                           |                                 | 株式会社 アンドファームユギ   |   |
| 活動主体（団体名）（フリガナ）                     |                                 | カブシキガイシャ アンドファームユギ   |   |
| 取組の内容<br>（自由記述）                     | ①概要                             | 米国発祥の持続可能な農場運営スタイルであるCSA（Community Supported Agriculture）をベースにした事業を展開しており、住宅地に近い立地を活かし、農薬や化学肥料を使わない農産物の生産・販売を行っている。  |   |
|                                     | ②取組内容を確認できるURL（または資料添付）         | <a href="https://fio8.com/">https://fio8.com/</a><br><a href="https://fio8.com/vege/">https://fio8.com/vege/</a><br><a href="https://fio8.com/news/20240215/">https://fio8.com/news/20240215/</a>  |   |
|                                     | ③実施時期、頻度                        | 通年   |   |
|                                     | ④活動場所（所在地）                      | 八王子市   |   |
|                                     | ⑤活動の規模（参加者数）                    | 4名   |   |
|                                     | ⑥活動状況がわかる写真（撮影年月日）（既に実施している場合）※ | <br>2024年3月17日  | <br>2023年12月10日 |
| 対応する社会課題<br>（該当する項目にチェック／複数選択可）     |                                 | <input type="checkbox"/> 子供の福祉（子供の健やかな成長を社会全体でサポート）<br><input checked="" type="checkbox"/> 都民の健康・長寿（誰もが元気で心豊かに暮らせる地域の実現）<br><input checked="" type="checkbox"/> コミュニティ形成（誰もが集い、支え合うコミュニティを至るところに形成）<br><input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災／気候変動対策（地球温暖化に伴う豪雨や自然災害等の被害軽減）<br><input type="checkbox"/> 地域振興（東京全体の生産性、魅力向上）<br><input type="checkbox"/> 観光・文化振興（人々のウェルビーイング、東京のプレゼンス向上）<br><input checked="" type="checkbox"/> 農林水産業の成長（危機に強い産業構造への転換）<br><input type="checkbox"/> 緑や水辺を生かした空間の創出／自然保全・管理（都市機能を高め、世界を魅了）  |   |
| 活用している生態系の機能<br>（該当する項目にチェック／複数選択可） |                                 | <input checked="" type="checkbox"/> 供給サービス（日々の暮らしに必要な資源を供給／食料、繊維、木材、水、薬品など）<br><input type="checkbox"/> 調整サービス（二酸化炭素の吸収）<br><input type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／ヒートアイランド現象・暑熱環境の緩和）<br><input type="checkbox"/> 調整サービス（都市環境の質の向上／大気汚染や騒音の低下）<br><input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（災害の緩和／台風、洪水、津波、地滑り、雨水浸透、Eco-DRR）<br><input type="checkbox"/> 調整サービス（水質の浄化／窒素やリンの吸収、有機物の取り込み）<br><input checked="" type="checkbox"/> 調整サービス（花粉媒介／植物の世代交代、農作物の収穫量の増加）<br><input checked="" type="checkbox"/> 文化的サービス（精神を豊かにする機能／芸術的・文化的なひらめき、教育的効果、心身のやすらぎ、観光レクリエーションなど）<br><input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（生息・生育環境の提供）<br><input type="checkbox"/> 基盤サービス（光合成による酸素の生成）<br><input checked="" type="checkbox"/> 基盤サービス（地力の維持及び栄養循環） |   |
| 貢献の内容<br>（自由記述）                     | ①人間の幸福に対して                      | <p>CSAは、生産者と消費者を結びつけ、前もって消費者が生産者に農産物の購入費を支払う仕組みにすることで、両者が農業の天候不順による不作のリスクを共有できる新しい農業のモデルである。生産者と消費者の距離が近い都市農業で特に導入しやすいと言われており、食品システムを透明化することで環境にも人にも安全な農作物の生産を行うことができる。</p> <p>農薬や化学肥料を使わずに野菜をつくるだけでなく、直売所やマルシェなどで自ら店頭に立って野菜や蜂蜜を販売したり、農業体験イベントの開催なども行っている。</p>   |   |
|                                     | ②生物多様性に対して                      | <p>農薬や化学肥料を使用せず、土の負担を減らすことで環境に配慮された農業を行っている。</p> <p>また、管理が行き届かなくなった里山を手直ししながらそこに住む生き物と共生ができる養蜂を行い蜂蜜の生産をしている。</p> <p>このように、周囲の自然へ配慮しながら農業を維持することによって、地域の生態系の保全を図っている。</p>   |   |